

# 畠山みのりの動き(4月～6月)

- |   |  |
|---|--|
| <p>4月 5日(火) 常任委員会<br/>6日(水) 自立研修会(早朝研)<br/>特別委員会<br/>少子・高齢社会対策特別委員会懇談会<br/>13日(水) 朝街宣<br/>15日(金) 連合後援会事務局会議<br/>16日(土) 札幌地方林退会定山溪支部総会<br/>澄川商工会定期総会<br/>17日(日) 澄川第一町内会定期総会<br/>19日(火) NTT労組函館分会挨拶<br/>22日(金) ライオンズクラブ記念ピン贈呈式<br/>23日(土) 澄川地区連合会定期総会<br/>24日(日) 南区少年軟式野球春季大会開会式<br/>26日(火) 藤野中央商工振興会定期総会<br/>27日(水) 朝街宣<br/>28日(木) 参議院選挙札幌圏合選設置総会</p> <p>5月 1日(日) 第87回全道メーデー<br/>8日(水) 澄川開拓記念碑保存会<br/>10日(火) 議員総会・常任委員会<br/>11日(水) 自立研修会(早朝研)<br/>特別委員会<br/>12日(木) 情報労連自治体議員団会議<br/>14日(土) 道議会議員総会<br/>15日(日) 札幌アイヌ協会定例総会<br/>全道庁退職者会南区分会総会<br/>16日(月) 民進党地方自治体議員フォーラム<br/>17日(火) 民進党地方自治体議員フォーラム<br/>18日(水) 朝街宣<br/>連合北海道街宣行動<br/>19日(木) ウトロ義務教育学校視察<br/>22日(日) 南区連合ファミリーメーデー<br/>23日(月) 藻南商店街振興組合総会<br/>25日(水) 朝街宣<br/>民主教育をすすめる道民連合<br/>27日(金) 北海道労働文化協会総会<br/>28日(土) 横路孝弘国政報告会<br/>定山溪沿線町内連絡協議会<br/>31日(火) 定山溪温泉開湯150周年記念祝賀会</p> | <p>6月 4日(土) 連合男女雇用機会均等法集会<br/>三宅由美市政報告会・後援会「春爛漫」<br/>5日(日) 第11旅団創立及び駐屯地開庁記念<br/>6日(月) 徳永工リ支援議員団会議<br/>7日(火) 朝街宣<br/>8日(水) 自立研修会(早朝研)<br/>特別委員会<br/>9日(木) 北海道博物館等視察<br/>10日(金) 北方領土復帰期成同盟総会<br/>情報労連政策実現集会<br/>13日(月) 地方自治研究所定期総会<br/>14日(火) 補正予算会派説明会<br/>15日(水) 大阪府淀川へ調査研修(16日まで)<br/>18日(土) 道私鉄交通政策自治体議員総会<br/>交通政策合同学習会<br/>澄川地区団体等代表者歓送迎会<br/>19日(日) 南消防団消防総合訓練大会<br/>民進議員社春季政策研修会<br/>20日(月) 議員総会・前日委員会<br/>21日(火) 第二定例会開会会期7月8日まで)<br/>徳永工リ出陣総決起集会<br/>22日(水) 参議院選公示<br/>24日(金) 定例会代表質問<br/>28日(火) 定例会一般質問</p> |
|---|--|



# みのり通信

2016年 夏号

2016年7月1日



連絡先 札幌市南区澄川4条1丁目 港ビル1F  
TEL 011-813-7733 FAX 011-813-7778



## 義務教育学校で私も学ぶ 道議会議員 畠山みのり

先日、斜里町立知床ウトロ学校へ調査に行きました。道内の義務教育学校として中標津計根別学園とともに、この4月に入学式が行われた小中一貫教育の推進を進め、その推進を継続するための組織作りに力を注いでこられたとのこと。地域の方には、もともとウトロ小中校としてなじみの深いものだったようで、スタートを迎える時には特に学校の名称をどうするかで議論があったとの裏話もお聞きしました。

伺った日はちょうど1年生から9年生まで全校生徒が初めて一緒に給食を食べる日で、体育館にテーブルと椅子を並べて低学年も高学年も先生も交流を楽しんでいました。

義務教育学校は学年の区切りを「6・3」制のほか「4・3・2」等に変更できますが、ウトロ学校では他校とのバランスを考え、従来通り「6・3」制とし5・6・7年生を接続期と考えています。小学生からすると中学生は大人のように見えるのかもしれませんが、その垣根を取り払い、行き来を自由にすることで、より広い社会での自分の立ち位置や自分の役割をそれぞれ自覚出来るのではないかと想像します。

教職員の方々も、最初は戸惑いもあったようですが、例えば中学校の先生が低学年に話すとき、ゆっくりと話すことが必要であるということに気づくことで様々な工夫が生まれ、現在は教職員が互いに協力し合うという体制に自然になっていったということです。

また、教員免許がなくても出来る業務は事務担当が行い、教員はなるべく生徒との時間を持つような体制が出来ているとのこと、非常にうらやましく思いました。

小中一貫教育推進の中にもうたわれていた「夢は大きく、目標ははっきりと!」という言葉に目が覚めたような気がします。



